

【テーマ2:教材配信ソリューションを活用した校内研修支援・教員研修の高度化プログラム開発】

【団体名】

国立大学法人愛媛大学愛媛県教育委員会、愛媛県総合教育センター、松山市教育研修センター、東予・中予・南予教育事務所、東温市教育委員会、伊予市教育委員会、松前町教育委員会、砥部町教育委員会、久万高原町教育委員会、愛媛県内校内研修協力校(小学校18校538名、中学校18校519名、高校3校76名、特別支援学校1校41名、教育委員会・校長会・教育センター・市教研委員会5か所・77名合計44校他1,251名)・愛媛県内外の教員・校内研修支援プログラム(延べ530名)、現代的課題対応実践力高度化研修プログラム(延べ375名)本プログラム受講者合計人数2,156名

モデル開発概要

現場における課題

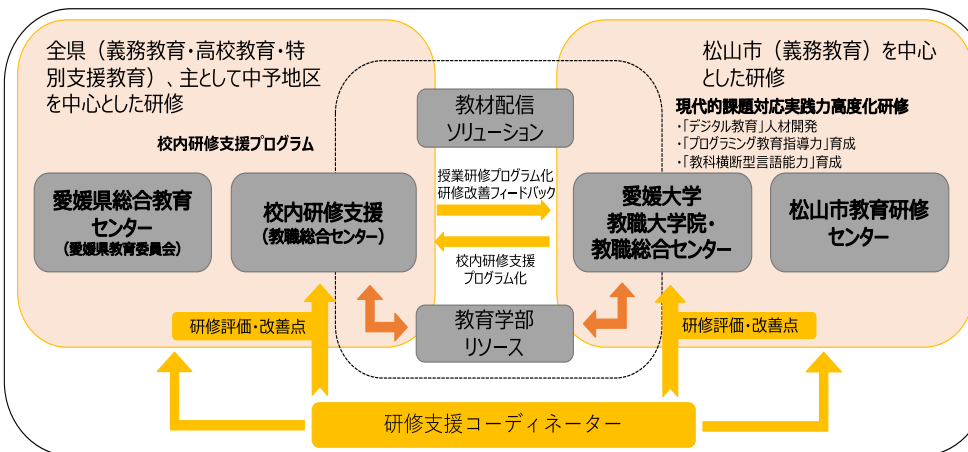
- ◆ 愛媛県では、愛媛大学と愛媛県教育委員会の連携を中心に、愛媛県内の教員研修の充実を図っている。これまでも県内唯一の基幹大学として教員免許更新講習を実施し、愛媛県内全域・全教員免許種をカバーして教員の資質能力の向上に重要な役割を果たしてきた。そして、この実績と連携の蓄積を活用し、愛媛県総合教育センターや松山市教育研修センターを通じて、現在、「新たな教師の学びの姿」の実現に尽力している。しかしながら、研修の多くは、一度きりの対面研修あるいは、オンラインの一方通行の配信研修となっている。そのため、個々の研修で学校や教員の実情やニーズにあわせた調整が困難である。また校内研修の担当者(研修主事や各主任)にとっては、研修成果を学校内で活かす上で、研修内容をどの程度把握できて校内研修に臨めているか不安も存在している。
- ◆ そこで、愛媛県総合教育センターと連携して実施する校内研修支援プログラムと、松山市教育研修センターと連携して実施する高度化研修プログラムを、対面研修と教材配信ソリューションを活用した研修の双方を組み合わせ、研修内容の繰り返し学習やふりかえり、受講者へのフィードバック等を補完することで、校内研修支援や教員研修の高度化を充実させる可能性に着目した。

研究テーマ(モデルの概要、活用する技術・ツール等)

- ◆ 本事業は、教材配信ソリューション(NTT EDX UniText)を活用して、「新たな教師の学びの姿」の実現に資する研修支援及び高度化研修プログラムを開発・実施する。

高度化に資する取組

校内研修支援や教員研修の高度化を図るため、三つの内容を遂行する。第一は、校内研修担当者(研修主事や主任)を対象とした対面研修と研修支援プログラム(デジタル配信)の開発である。校内研修支援プログラムは、愛媛県総合教育センターの研修として位置づけ、県内の校内研修担当者(研修主事や主任等)を対象にする。第二は、松山市教育研修センターと連携して実施する現代的課題対応実践力高度化研修プログラム開発である。第三は、研修支援コーディネーターを中心とした研修支援・成果分析(学習ログ分析、教員評価分析)によるプログラム汎化可能モデルの検討である。



モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- ◆ 本事業における期待される効果は、第一に、校内研修支援プログラム(8講座程度)と現代的課題対応実践力高度化研修プログラム(3テーマ計20講座程度)を開発することである。教材配信ソリューションに掲載された教材は今後も継続して活用できるものになる。第二は、校内研修支援プログラムと現代的課題対応実践力高度化研修受講者に対する研修の提供である。個々の研修ニーズを活かした研修や研修内容の繰り返し学習やふりかえり、受講者へのフィードバック等を含んだ充実した研修が可能である。第三は、研修プログラムの成果や課題の分析をもとに、今後の研修内容・方法の改善や新たなニーズへの対応はもちろん、研修プログラムの汎化可能モデルを検討することで、「新たな教師の学びの姿」の実現に資する研修支援及び高度化研修プログラムの開発・実施に貢献する知見を提示できるであろう。